

グローバル各社の取り組み

JSRグループでは、企業理念体系や中期経営計画をグローバルで共有しつつ、国・地域ごとに異なる課題やニーズに応じた取り組みを進めています。自社の事業環境と求められている社会的責任について、海外グループ各社のリーダーの声を集めました。

JSR BST Elastomer Co., Ltd.



取締役社長
長友 崇敏

工場を建設中のタイのラヨン県マブタプット地区は化学工業の集積地で、環境に対する意識が高い地域です。2012年5月に近隣で発生した爆発事故により安全性への要求も厳しくなっているため、安全に関する万全の施策を実施し、地域社会へ訴求していくことが必要です。工場の建設にあたって地域住民への説明会を行ったほか、地域行事への参加や周辺学校への寄付などの地域貢献活動を行っています。

Elastomix (Thailand) Co., Ltd.



代表取締役(当時)
後藤 眞

タイでは経済成長と環境整備（工業地域の環境問題、インフラ整備など）が注目されているとともに、生活の質の向上が求められています。CSRに関する認知度はまだあまり高くありませんが、既に近隣住民との対話や省エネ、リサイクル率の向上などの環境対策への取り組みを進めています。今後はさらに、従業員のモチベーション向上と、定期的な教育による企業倫理の徹底に注力していく予定です。

JSR Micro N.V.



President
Bruno Roland

EUでは、環境と顧客・従業員の安全を守ることに大きな関心が寄せられています。化学薬品の環境への影響や従業員の健康、安全性の技術への注目は高く、当社では環境への影響や労働安全に最大限に配慮し、従業員との積極的な対話を通じ、開かれたコミュニケーションを促進しています。EUの規制は複雑ですが、環境や労働安全への影響を測りながら、適切な対応を行っています。

JSR Micro, Inc.



HR Director
Phyllis Moracco

カリフォルニアでは、最近始まったキャブアンドトレード方式と、インテル社によるグリーンケミストリー・ベンチマーキングが話題となっています。当社はサプライチェーンでのCSRに関する取り組みの共有を進めています。サプライチェーン各社や投資家など社外ステークホルダーへの働きかけは顧客の要望でもあります。今後は、生物多様性プロジェクトにも関わっていきたくと考えています。

JSR Micro Korea Co., Ltd.



代表理事社長
川橋 信夫

韓国では、企業が高いレベルの社会的役割を果たすことが期待されています。安全衛生、品質管理への関心も高まる中、当社はGHS^{*1}対応、MSDS^{*2}作成、使用薬品の安全性の確認、法令に対応した新規化学物質の登録など、さらなる遵法の徹底に取り組んでいます。今後、韓国外への製品輸出が増加する中で、輸出対象各国の化学物質管理制度や貿易関連規則を整理して法令遵守の体制整備を進めていきます。

JSR Micro Taiwan Co., Ltd.



董事長
根本 宏明

台湾では、99%以上のエネルギーを輸入に頼っているため、省エネ・低炭素化は喫緊の課題であり、当社でも工場中心に省エネ対策を積極的に行っています。また、工場の緑地では台湾固有種を栽培するなど生態系との調和も図っており、2012年から2年連続で地元工業区の緑化コンテストにて表彰されました。今後もJSRグループ全体のCSR活動の目標をもとに、地域性にも配慮した活動を推進していきます。

Techno Polymer America, Inc.



President
石井 敦

米国では、サステナビリティへの取り組みが一流企業の条件になっていくと感じます。特に環境問題は、プラスチックの世界的な展示会「NPE2012」でも大きなテーマでした。また、企業倫理についても非常に厳しい国柄なので、営業活動などでは十分に注意しています。今後は、JSRグループならではの技術力を武器に、今にも増して欧米企業のニーズに合った環境対応型材料を開発していきます。

JSR Trading, Inc.



社長
筒井 健

ガソリン価格高騰から、アメリカでも低燃費なコンパクトカーへの乗り換えが進んでいます。当社は低燃費タイヤの原料となるJSR S-SBRの販売拡大を通じて、環境改善に寄与しています。また、貿易管理・規制への対応や労働問題などのリスク管理に力を入れており、定期的に状況確認を行っています。現地に根差した企業を目指し、ローカル企業との取引拡大やナショナルスタッフの雇用を進めています。

Techno Polymer Hong Kong Co., Ltd. Techno Polymer Guangzhou Co., Ltd.



Managing Director
董事長・総経理
岩下 直正

当地は今、経済発展・国家発展を最優先する時代から、企業が社会的責任を果たすために何をすべきか議論できるステージへ変化しています。当社は運営規模の小さい会社ですが、現地法人として持続可能なCSR活動とは何かを従業員と勉強会などを行いながら一緒に考えているところです。まずは、段ボールや新聞のリサイクルなど身近な活動から取り組みを始めました。

Techno Polymer (Shanghai) Co., Ltd.



董事長・総経理
平田 大

中国は環境面で世界から厳しい見方をされています。そのため、有害化学物質の輸入管理レベルは年々厳格化されていますし、個人レベルでも環境や安全に対するマインドが高まっています。環境規制や労働環境改善のニーズに応えるため、顧客の工程削減につながる材料などの販売拡大を目指すとともに、法令遵守、公正な取引の実践、雇用を維持し、人材育成に取り組んでいます。

JSR (Shanghai) Co., Ltd.



董事長
藤本 敏行

中国でも、一般の人々の環境意識は年々高くなってきており、「化学品を扱う企業として、中国の法規制に適切に対応しつつビジネスの拡大を目指す」ことが、当然ですが、基本であり重要であると考えています。事業の拡大に連れナショナルスタッフの育成も重要となってきており、JSRグループの一員としてチャレンジする気概を持ってもらえるようなマネジメントを意識してやっていきたいと思っています。

捷和泰(北京)生物科技有限公司



総経理
安田 健二

中国ではこの冬騒がれたPM2.5のみならず、より良い環境、医療への国民の意識が日に日に増していると実感しています。私たちの製品である診断薬中間体は、より良い医療環境を提供するための製品であり、まさしく事業活動そのものがCSRであると言えます。また当社が中国企業との合併企業である利点を活かし、社員、家族との社員旅行などを企画し、地域コミュニティへの積極的な参画を図っています。

Techno Polymer (Thailand) Co., Ltd.



Managing Director
上原 章太郎

タイは、急激な経済成長の裏で環境・社会問題が未解決のままとなっており、企業の対応が期待されています。デモや洪水などのリスクもあるため、リスクマネジメントの向上にも力を入れています。今後は従業員自らがCSRのために何をすべきか意識できるよう教育する取り組みを進め、CSR活動に積極的に参加でき、誇りを持って企業として成長することを目指します。

上海虹彩塑料有限公司



董事總經理
大村 勝郎

上海でも、中国の他の地域と同様に、経済発展と環境保護の両立が社会的な課題となっています。特にPM2.5をはじめとする環境問題と、それに対する改善策についての関心は、非常に高くなっていると感じています。私たちが、生産活動における省資源、省エネルギー活動の推進を積極的に進めていきます。

日密科橡膠(佛山)有限公司



総経理
加藤 雅司

環境・安全に関する法規が整備され、企業への安全管理指導も強くなってきています。当社では以前から環境・安全の維持と向上に取り組んできましたが、これからも継続して推進していきます。また、従業員に対する責任を強く求められるようになっているので、福利厚生制度の整備や従業員の意識調査などを行い、人材の確保・育成に努めています。

上海立馳高化工有限公司



総経理
小柳 景也

大都市を中心に環境意識が急激に高まっています。PM2.5や食品管理法の強化などの話題が絶えず、当社でも環境意識に起因する商材の組み合わせを強化しながら、中国の貿易実務にわたる諸規制を遵守することに力を入れています。今後は、JSRグループの環境対応や地域社会への貢献をさらにアピールできるよう、自分たちの拠点から柔軟に情報を発信していけるよう努めます。